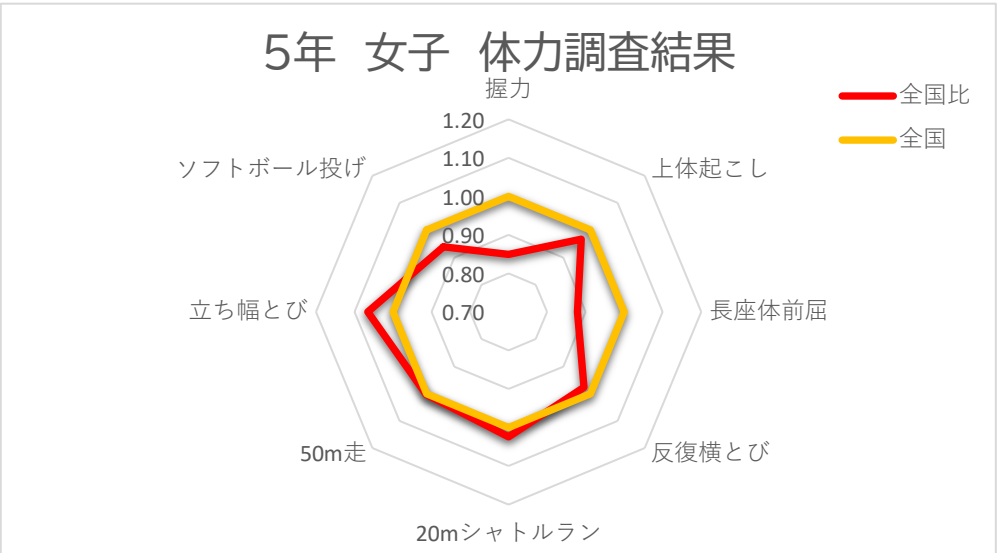
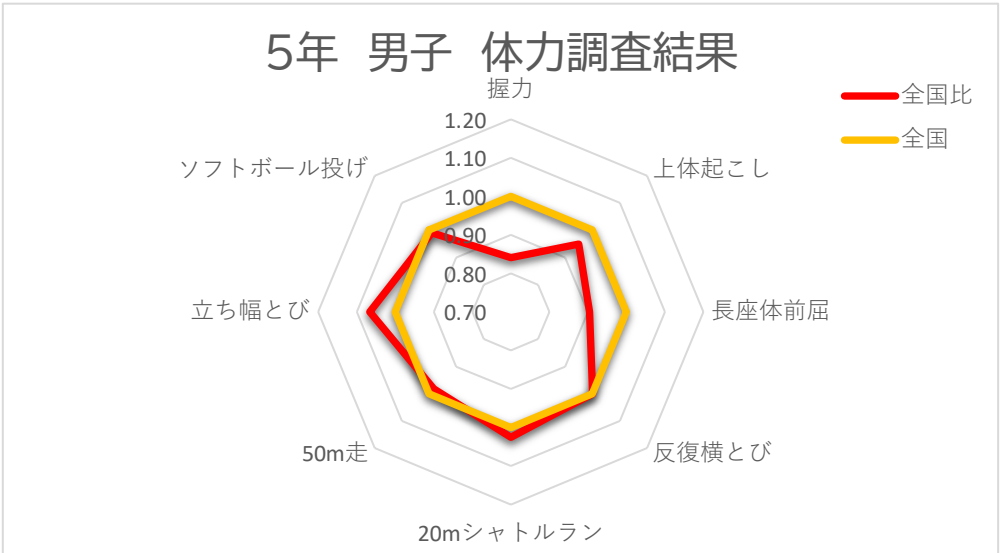
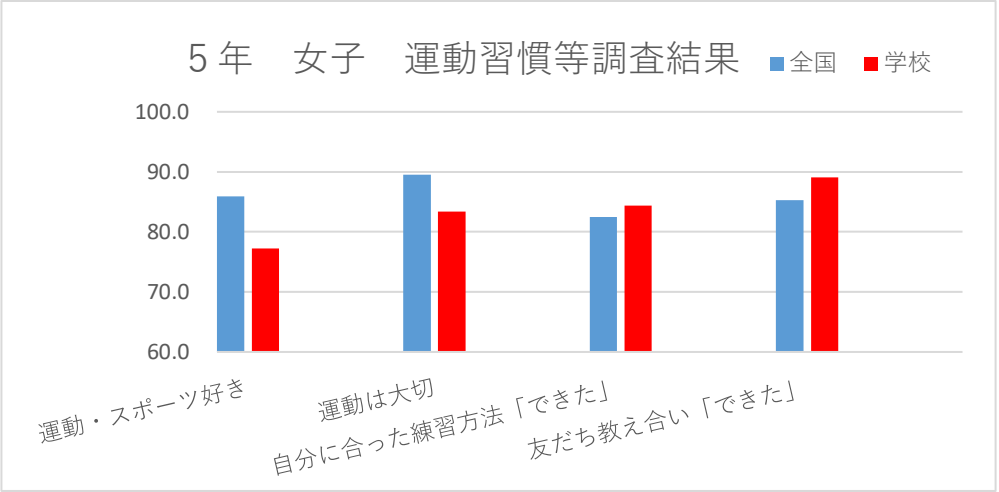
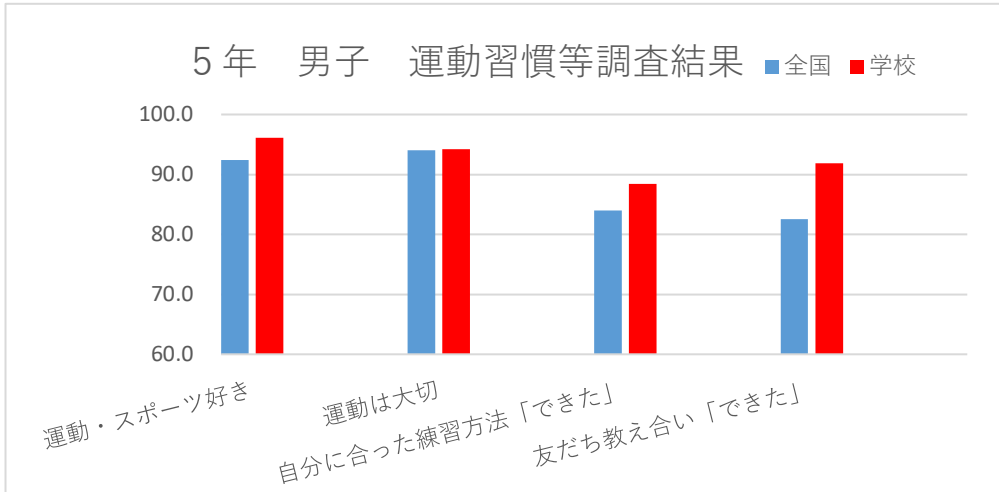


1．現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2．改善プラン

① 現状と課題

- 学校としては「投げる」に課題を感じる。先日、地域の中学校教員と交流したところ、中学校区として「投げる」に課題を感じるとのことだった。子どもたちのスポーツテストの結果を見るとそれほどまでに課題があるように感じないが「握力」には課題を感じる。よって、【握力向上】の取り組みが必要であると考える。また、「長座体前屈」も引き続き向上できるようにアクションプランを続けていく。
- 運動量と食べる量（特に朝ごはん）が見合っていない。また苦手な食べ物も多く、給食の残量も多い。生活習慣を整えて、ご飯を食べて、運動して元気力を高めていく必要がある。

② 目標・めざす子ども像

- ◎生活習慣を整え、食事と運動のバランスをがとれ、元気のある児童
- ・すすんで運動に取り組みつつ、気づけば柔軟性や握力が育っている。
- ・軽いものではなく、しっかりとした朝ごはんを食べることの大切さに気づく児童が増える。

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
生活アップ週間で、自身の生活リズムを見つめなおす。	全学年	6月、11月		○	○	○
保健だより、食育通信（HPIにも掲載）	0	毎月		○	○	○
養護教諭・栄養教諭からの生活習慣の話	0	未定			○	
栄養教諭による、食育の授業	全学年	適宜				○
保健室での個別の声掛け	0	適宜		○		
体育カードの活用(振り返りの欄)	全学年	通年	○			
体育委員会による取り組み	全学年	未定	○			
立命館短期プログラムのまげまげピンに取り組む。	全学年	未定	○			